

子育て安心 女性と男性が共に働ける習志野を！

ふじ さき
藤崎 ちさこ

〒275-0021 習志野市津田沼7-9-30 TEL/FAX 047-451-2550
E-mail : fujisakichisako.narashino@gmail.com
ホームページ : 藤崎ちさこ検索



市民に寄り添う政治を進めます

地域包括支援システム、自治体の展開を！

イギリスでは医療費は税金で賄われます。患者は無料で医療が受けられますが、「かかりつけ医」に相当する家庭医にまず診てもらったうえで、高度な検査や治療の必要があれば病院に紹介してもらう制度です。日本のように風邪をひいていきなり大学病院に受診することは不可能です。

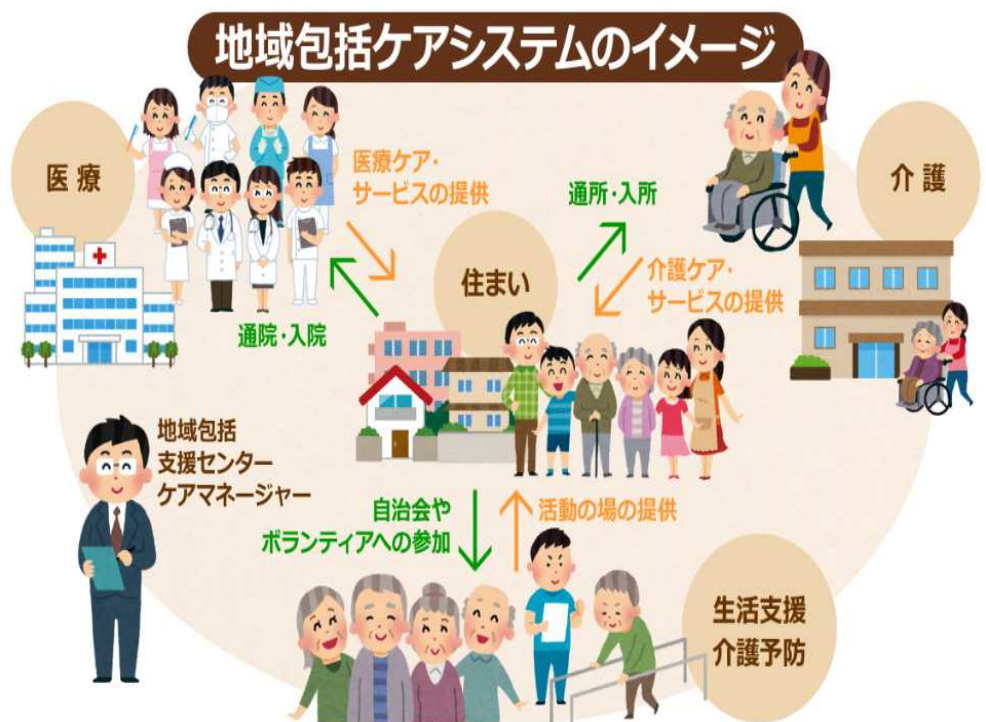
地域の医療体制の整備が不可欠

今後は日本でも、重い患者に人的・物的資源を効率よく集中投入し、患者を地域に戻します。そのためには、地域の医療体制の整備が不可欠です。地域の病院と診療所をネットワーク化し、市民が安心して医療を受けられることが大切です。また、地域包括支援システムは、医療のネットワーク化だけをめざしても不十分です。



健康管理で病気を予防

医療は病気になったり、機能が衰えたときに回復させるという限定的な意味だけではありません。健康管理で病気を予防し、病気になったときは質の高い医療を受け、そして健康を維持する、あるいは質の高い介護を受ける、そういう地域ごとの、継続的で包括的なネットワークの構築をめざしていかなければなりません。藤崎ちさこは、習志野市民が安心して暮らせるように、地域包括支援システムの改革をめざします。



4月からスタート子育て支援制度を本物に

子どもと家族のための切れ目のない支援「ネウボラ」

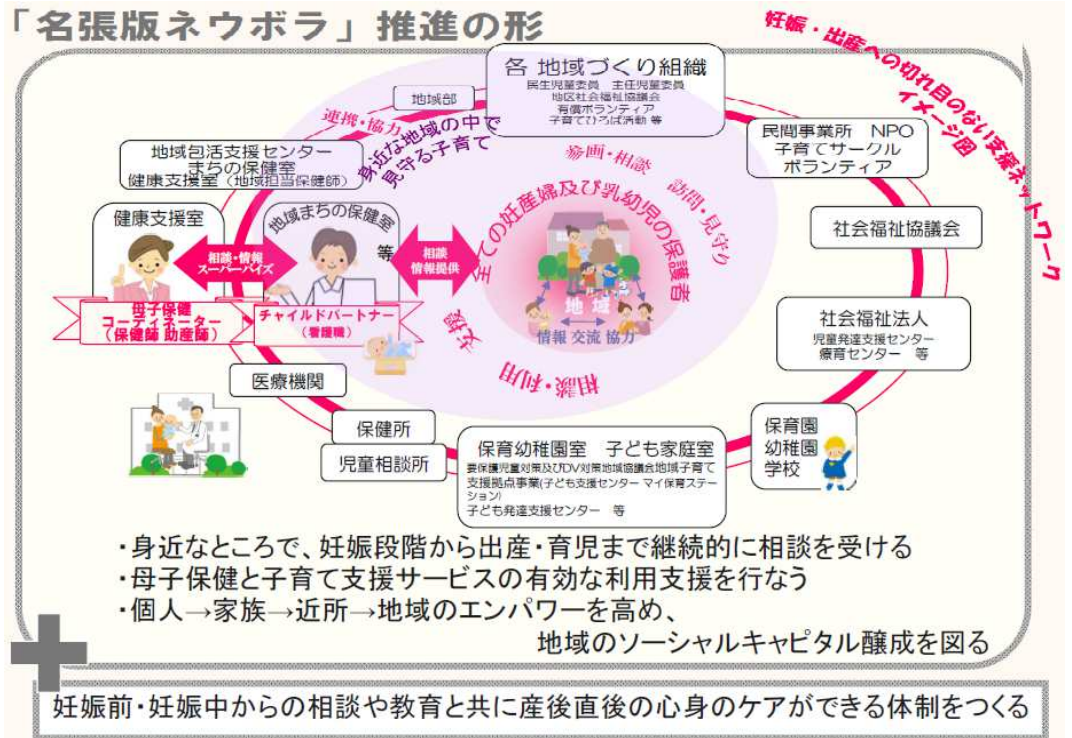
4月から全国150市町村に、妊娠から子育て期まで支える「子育て世代包括支援センター」が設置されます。すでに取り組みを始めている自治体では、確かな成果とともに新たな課題が出てきました。三重県名張市の「名張版ネウボラ」と呼ばれる取り組みを紹介します。この取り組みは国のモデル事業として本年度から先行実施され、全国から視察が相次いでいます。「ネウボラ」とは、フィンランド発祥の子どもと家族のための切れ目のない支援のことで、児童虐待の予防などにも役立っています。名張市が独自に養成する、子育ての相談相手「チャイルドパートナー」が、地域包括支援センターの支所で市内15カ所にあるまちの保健室に常駐しています。



「誰かに話したい」 支援プランの作成

妊娠届けを出した全員が対象でパートナーの連絡先も渡されます。母親たちが相談に訪れ、パートナーが緊急性があると判断した子育ての悩みは、市の母子保健コーディネーター（保健師や助産師）と共有します。コーディネーターは妊娠届け提出者全員に支援プランを作成します。チャイルドパートナーは母親たちにとって「何があったら浮かぶ顔」、孤立を防ぐ「心のお守り」で、「夫でも親でも友達でもない誰かに話したい」と語る母親もいます。

「名張版ネウボラ」推進の形



＝ 藤崎ちさこ プロフィール ＝

千葉県千葉市で生まれる(1956年)
 千葉大学附属中学卒業 千葉県立千葉高校卒業
 横浜国立大学経済学部卒業
 コンピューターメーカー、外資系保険会社を経て
 保険代理店ファイナンシャル・プランナー
 趣味: マラソン 動物大好き